



武内公民館が第77回優良公民館表彰受賞を報告しました

文部科学省が実施する第77回優良公民館表彰にて、武内公民館が優良公民館を受賞しました。

今回の受賞は、「若い世代向けの講座などを開催することで、まちづくりに参画してもらえるように工夫した点」や「町民対象のワークショップを開催し、まちの課題を解決するための意見交換を行い、飛龍窯を活用したイベントを開催しまちの活性化、町民のまちづくり参画を醸成している点」などを評価いただきました。

今回の受賞に、浦郷 政紹館長は「武内町の皆さんは何をするにしても協力的。この受賞は武内町の皆さんでいただいた賞です。今後も、武内町住みよいまちをつくる会と連携しながら、武内町を盛り上げていきたいと思います」と述べました。



JAさがみどり地区農政協議会様からいただいた佐賀牛を給食でいただきました

JAさがみどり地区農政協議会様には、令和4年度から学校給食に対し物価高騰対策等の一環として農産物をいただいております。

今年度は佐賀牛ブランド誕生40周年であることから「佐賀牛」をいただくこととなり、2月7日(金)にみどり地区(武雄杵島・鹿島藤津)合同での贈呈式が執り行われました。

寄附していただいた佐賀牛は、佐賀牛カレーとして、各学校の給食で提供されました。

JAさがみどり地区農政協議会様、誠にありがとうございました。



金継ぎワークショップを開催しました

2月16日(日)と23日(日)の2日間で、亀翁窯(山内町)・古賀 末廣先生を講師として迎え、金継ぎワークショップを開催しました。

1回目には、割れた器を接着剤で接合、破片がない部分の埋め合わせ作業を行い、2回目には、接合した部分への金(今回は真鍮を代用)の塗り込みを行いました。

20名の参加者には、それぞれ思い入れのある器を持ち寄ってもらい、丁寧に作業していただきました。参加者からは「伝統工芸の技術を学ぶことができてよかった」「思い出のものに対する愛情を改めて感じた」などの感想をいただきました。

武雄市文化協会では、これからも気軽に文化・芸術に触れ、楽しむことができる機会づくりを行っていきます。
※金継ぎとは、割れた器を修復する伝統的な技法です。



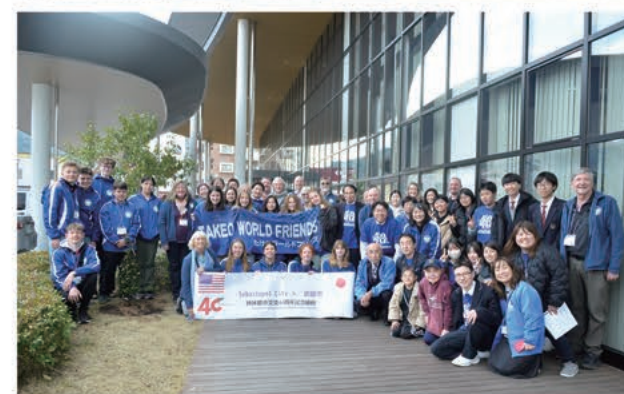
成長への願いを込めたランドセルストラップ

市内在住の田中 紀代子さんによる手作りのランドセルストラップが、令和7年3月の卒園児(市内18施設、427名)に届けられました。

お仕事の傍らコツコツと積み重ねられた田中さんの取り組みは今年で7年目となり、これまでに2,507個ものストラップをプレゼントされています。

6年間、毎日、一緒に通学するランドセルに「いじめや差別のない学校生活、ハラスメント等をしない社会人に成長してもらいたい。武雄の子どもたちの生活環境が豊かなものになってほしい」という思いを込めて、続けられています。

田中さんにいただいたストラップを手にした子どもたちはとびっきりの笑顔でした。田中さんの願いとともに、子どもたちの笑顔が続きますように。



セバストポール市との姉妹都市締結40周年記念植樹式が執り行われました

3月17日(月)、姉妹都市締結40周年を迎えたアメリカセバストポール市から訪問された学生、大人計33名が市役所を訪問され、記念植樹を行いました。

小松市長は「本日の記念植樹を通して皆さんとの交流の証がまたひとつ生まれることを嬉しく思う。No friendship without exchange. No peace without friendship.(交流なくして友好なし 友好なくして平和なし)」と歓迎の挨拶を述べました。セバストポール訪問団を代表してパトリック スレイター様からは「自分たちが選んだ家族(武雄市)は共通の願いを持っている。この交流や世界平和への活動を大切にしている」と述べられ、両市の今後ますますの友好を確認しました。

記念植樹式ではヒメシャリンバイを植樹しました。市役所にお越しの際はぜひご覧ください。



武雄市図書館・歴史資料館 リニューアルオープン来館者1,000万人達成！

2月26日(水)、武雄市図書館・歴史資料館の来館者が1,000万人となり、記念セレモニーが執り行われました。

1,000万人目の来館者は、嬉野市の藤村 空さんで、花束と記念品が贈呈されました。空さんのご家族は、毎週のように図書館を利用しているそうです。

お父様の和久さんは「子どもがたくさんの本に触れることができ、様々なイベントを企画してもらえるので、子育てにはとても有意義な場所だと思います」と感想を述べられ、小松市長は「リニューアルから12年を待たずして1,000万人を達成し、驚きと共に嬉しく感じます。全ての関係者の方々に感謝し、これからも皆様に愛される図書館を目指して、私たち市も一緒に取り組んでいきたいと思います」と挨拶しました。

これからも市内だけでなく、佐賀県内外からたくさんの方のご来館を心よりお待ちしております。



TAKEOシルバーゲームフェスタを開催しました

2月24日(月・祝)、市役所1階ホールで「第1回TAKEOシルバーゲームフェスタ」を開催しました。

小松市長との対戦「始ゲーム式」の後、「ぶよぶよの部」「太鼓の達人の部」に分かれ、65歳から89歳まで総勢36名が参加されました。当日はトーナメント試合のほか、エキシビジョンマッチとして高齢者と子どもたちとの対戦が行われました。

本イベントは「健康寿命延伸に関する連携協定」を結んでいる大塚製薬(株)様より協賛としてカロリーメイトリキッドの提供をいただき、また、スポーツ課より「SAGA2024国スポ・全障スポ」で使用した物品の提供を受けました。

スポーツに対する機運を遺産として持続、発展させ、健康寿命が延伸できるよう、eスポーツを通して高齢者の介護予防、地域づくり、多世代交流に取り組んでいきます。



武内町親林会様が全国育樹活動コンクール 受賞を報告されました

(公社)国土緑化推進機構が実施する令和6年度全国育樹活動コンクールにて、武内町親林会様が国土緑化推進機構理事長賞を受賞されました。

武内町親林会様は、平成3年の台風被害をきっかけに発足され、森林整備や作業機械の安全教育、子どもたちへの森林教室等の活動をされています。

濱野副会長様は「利益を求めない、苦勞を惜しまない、地域に貢献する活動を続けたことが評価され感謝しています」と挨拶され、小松市長は「森林の維持管理はもちろん、森林を知ってもらうための活動に取り組んでいただき感謝しています。山に親しむ機会が減っている昨今、森林の価値を伝えることにつながることを期待しています」と今後の益々の活躍への願いを述べました。

今回の受賞、誠にありがとうございました。